



# イチローだより

本田一郎事務所 〒808-0103 北九州市若松区二島1丁目3-25 TEL.FAX 093-701-5543  
✉ ichiro\_honda@aioros.ocn.ne.jp

## 教育現場等における人材活用について

① ICTについては、教員だけでなく児童生徒や保護者も使いこなさなければいけません。特に保護者については、相談ができる相手がいないと、家庭でのオンライン授業などに支障をきたします。家庭からのICT相談体制の充実について見解を伺います。

② 私は昨年の市議会議員選挙に初めて出馬する際に、選挙公約として「笑顔の製造工場」というキャッチフレーズのもと、7つのお約束という公約を掲げさせていただきました。その「1」児童保育の中にボランテニア塾をつくりまします」という項目がありますので、それについて今回はお尋ねします。

そこで、まずは公約実現のための第一歩として、私からの提案ですが、放課後児童クラブにおいては、指導員が児童の宿題を見る等、学習支援にも取り組んでいただいています。更なる学習支援機能の強化のため、教員OB等を活用してはどうでしょうか、見解を伺います。

### 教育長からの答弁

① オンライン学習が本格的に始まり、その対応に教員の負担増に繋がっております。このために教育委員会ではICT活用支援によりヘルプデスクの開設や指導主事による学校からの電話相談対応による支援を行い対応している。急なトラブルや新たにオンライン学習に参加いたします家庭の対応へというものはこれからも必要で

ありまして議員ご指摘のように家庭に向けた支援体制が課題になっております。本市におきましては、国の補助事業を活用いたしまして従来のヘルプデスクによるオンライン支援をさらに拡張させるためにGIGAスクール運営支援センターを整備するための経費を令和4年度予算に計上しております。民間事業者により専門性の高い技術的な支援などを安定的に供給することを目指しているところであります。今後は指導主事による支援体制と合わせましてGIGAスクール運営センターを稼働させることで、家庭で発生した様々な端末トラブルの相談にしっかりと対応できるように相談体制の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

### 子供家庭局長からの答弁

② 放課後児童クラブの役割は、国の放課後児童クラブ運営指針において子供の発達段階に応じた遊びや生活の場を提供し、児童の自主性・社会性・創造性の向上や基本的な生活習慣の確立に向けて支援を行うことと位置付けられています。こうしたことから本市では、放課後児童クラブ実施要領に指導員の役割として、学習の場と遊びの場を分けて子供の保育を行うなどのサポートを行っています。議員ご提案の更なる学習支援機能の強化のための教員OBなどを活用については、児童が自らの学習に取り組むやすい環境作りが促進される事、指導員の負担が軽減される事など一定の効果が見込まれるものと考えます。その一方で、課題として教員OBなどの安定的な確保が難しい事、人件費や交通費

## 令和3年12月議会

### スポーツの振興について

東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、コロナ禍の中にあっても日本は大変盛り上がりました。中でも柔道日本代表は個人戦で男女合わせて金メダル9個、混合団体戦においても銀メダルを獲得するなど活躍を見せられました。

特に女子57キログラム級銅メダリストの芳田司選手は門司区の敬愛高等学校出身であり、柔道に対する姿勢や最後まで諦めない姿は北九州市民に大きな夢と感動を与えてくれました。

また、先日本市で開催された世界体操・新体操選手権でも選手の素晴らしい演技が観客やテレビの視聴者を魅了し、北九州市の知名度を全国的に広めることができました。このようにスポーツのもたらす感動は市民のシビックプライドの向上に大きな役割を果たします。

私も柔道を小学校三年生から始め大学卒業まで選手として現役を続け、現在は地元中学校の武道場をお借りして30年近く幼稚園、小学生を指導しております。子供達には日本柔道の祖嘉納治五郎先生が講道館柔道の指針として掲げた「自他共栄」「精力善用」の精神を伝え、健全な育成、心身共に強く成長する事を願い保護者と情報共有しながら関わっています。現在の本市では中学校までは全国大会上位レベルにいますが、高校になると急にレベルが下がります。これは市内に全国レベルの高校、特に男子の行ける高校が無く、有望な選手は市外の強豪校に

いってしまつからです。また、以前は北九州市長杯や北九州市議会議

などの新たな費用負担により放課後児童クラブ運営の見直しが生じる事などがあります。このようなことから教員OBなどの活用については今後、放課後児童クラブの関係者の意見を十分に伺いながら研究してまいりたいと思っております。

① ICTの知識に長けている専門学生や高専の生徒などを活用してはどうか。ICTで困っている教員の助けになるとおもいます。

### 教育長からの答弁

① 来年度開設する予定のGIGAスクール運営支援センターですが、民間事業者に委託を予定しております。ご指摘の通り、専門学生や高専の学生のように非常にICTの知識に長けている学生さんを活用するという事は委託先の業者さんと条件が合えば、有効ではないかと考えております。仕組みを考えていきたいと思っております。



長賞などの大会や表彰がありました。現在は、ないよう見受けられます。その点をお尋ねします。

① 本市も柔道の振興を積極的に図り、各種大会の主催・共催や国際規模の大会の誘致に努めるべきと考えますが、見解を伺います。

② 北九州市立高校に柔道部を作り、女子駅伝の市外への流出を防ぎ、また全国区となることで北九州市の知名度向上等にもつながりますが、見解を伺います。

### 市長より大変よい答弁を頂きました。

① 柔道の振興についてでございます。1882年に柔道は嘉納治五郎氏によって創設され



芳田司選手をかこんで



1964年に東京オリンピックで初めて正式競技に採用されました。柔道は精神が身体の動きを制御する高度な規律に基づくスポーツでありまして個人々の教育に寄与するスポーツでもありとされております。日本の武道として世界に誇れる競技であります。本市では現在、市柔道連盟に94チーム1348名が登録しており近年では、大蔵中学校、敬愛中学校、敬愛高校が全国大会で優秀な成績をおさめております。さらに2021年の東京オリンピックでは、敬愛高校出身の芳田司選手が銅メダルを獲得し、その活躍はコロナ禍にある市民の皆様にも明るいニュースを運んでくれました。

市として各種大会やイベントなどのPRや補助制度の周知を図ることにより、柔道の振興を支援してまいりたいと考えます。

また、国際スポーツ大会の誘致であります。10月に大会史上初の同時開催となる世界体操・新体操選手権が行われ地元出身の内村選手をはじめ日本人選手が活躍しました。他にもこれまでラグビー、テニス、卓球、サッカーなど様々な競技の大会誘致を行なってまいりました。スポーツ大会の誘致にしまして地元競技団体の協力が不可欠であります。今後とも柔道も含め、各競技団体と連携しながら様々な国際スポーツ大会などの誘致に取り組んでいきたいと考えております。

## 事務所移転のお知らせ



〒808-0103 北九州市若松区二島1丁目3-25 TEL.FAX 093-701-5543

若松イオン交差点 若松イオンバス停そば

北九州市民の皆様を 市政にお届けするように しっかりとがんばっております。 どうぞお気軽に お立ち寄りください。

この建物の左側に駐車場あり